

## 平成 30 年度第 2 回三浦半島地区保健医療福祉推進会議（地域医療構想調整会議）の 開催概要

### 1 開催日時

平成 30 年 8 月 27 日（月） 19 時 30 分～21 時 横須賀市保健所 第一研修室

### 2 議事内容

- (1) 平成30年度の地域医療構想の進め方について
- (2) 横須賀・三浦構想区域の現状分析（報告）について
- (3) 平成29年度病床機能報告結果について（報告）について
- (4) 公的医療機関等 2025 プランについて
- (5) 地域医療介護総合確保基金事業について
- (6) 病床整備に関する事前協議について

### 3 主な意見等

- (1) 平成 29 年度病床機能報告結果について（報告）について
  - ・ 病床機能報告については、医療法に規定され、ペナルティもあるので、引き続き県から未提出の医療機関へ働きかけをお願いしたい。
  - ・ 横須賀三浦地区は特に非稼働病床が多いので、全体的に解消する必要がある。
- (2) 公的医療機関等 2025 プランについて
  - ・ 「公的医療機関等 2025 プランについて」は、情報を共有し、今後必要があれば、改めて協議を行う。（久里浜医療センターについては、次回ご説明をいただく。）
- (3) 地域医療介護総合確保基金事業について
  - ・ この確保基金の利用状況を見ると回復期病床への転換補助が非常に大きいですが、非稼働病床となる大きな理由は看護師や介護士などの医療スタッフの不足であると思うので、医療スタッフ確保の事業についてもっと積極的にこの基金を利用してもらった方がいいと思う。
  - ・ 神奈川というブランドを高め、よい医療人材を集める、神奈川で従事すれば医師としてのキャリア、看護師としてのキャリアが上がるというような大きな方向性の人材確保、ブランド力の強化に基金を多く使ってもらいたい。
- (4) 病床整備に関する事前協議について
  - ・ 医療関係者の不足ということもあり、今回 22 床を事前協議にして配分されても稼働できるのかははっきりしない。配分しても有効活用されない可能性もあるので事前協議から外した方がいいのではないかな。
  - ・ 自衛隊横須賀病院のベッドが地元に戻元される場合と地元には還元されない場合があり、毎年変動する意義を考えないといけないのではないかな。
  - ・ 自衛隊横須賀病院のベッドのカウントの仕方が特殊であるならば、常にそれは除いて考えるべきだと思う。片方で非稼働病床を結構抱えているので、ある程度方向性が出た段階で、事前協議あるいは公募という手続きに入るのが市民の目線のように感じる。
  - ・ 高齢化に向けて、2025 年度までに不足分を解消して整備していった方がいいのではないかな。
  - ・ 2025 年のことを考えると、回復期病床を増やすという目的でしかも厳しく審査するということで、事前協議の対象としてもいいのではないかな。
  - ・ 急性期医療の後の回復期、慢性期の病床がやはり足りないので、回復期病床に限るということで事前協議を認めてもらいたい。

#### 【結論】

- ・ 今回は 22 床に関しては事前協議の対象としないこととなった。